令和元年度　第１回千葉市青少年センター運営審議会議事録

１ 日　時

令和元年７月１１日（木）　１０：００～１１：１５

２ 場　所

千葉市南部青少年センター ２階 会議室

３ 出席者

（委　員）

佐々木会長、迎副会長、池田委員、坂本委員、髙瀬委員、山口委員、川端委員、遠藤委員、渡邊委員

（事務局）

井谷所長、小滝主査、川崎主任技師、土肥課長補佐（生涯学習振興課）

４ 議　題

（１）平成３０年度事業報告について

（２）令和元年度施設運営方針について

（３）令和元年度事業について

（４）その他

５ 議事の概要

（１）平成３０年度事業報告について

施設の利用状況、主催事業の実施内容等について説明し、承認された。

（２）令和元年度施設運営方針について

施設運営方針を報告した。

（３）令和元年度事業について

主催事業について報告した。

６ 会議経過

（１）平成３０年度事業報告について

資料 P1～4 及びパワーポイントの資料を使い、井谷所長より平成３０年度の施設の利用状況、川崎主任技師より施設の維持管理業務について説明した。

（佐々木会長） 今、説明がありました、昨年度の施設の利用状況について質問等はありますか。

（佐々木会長） センターの日頃の活動が、稼働率が上がったことにつながったと感じた。ホールの利用状況を見ると、団体では、大学など市内の（中高）学校が利用している。利用料は無料が良いと思うが、いろいろなところが無料じゃなくなっているところもある。

（井谷所長） 利用者にとっては、利用料が無料というのは大きいと思う。他の施設で小ホールなどを借りると結構な額の費用が発生し、負担となるという話を聞いている。学生さんなどは（予算の）無いなかでやっているので、抽選に申し込んでいるが、取れなかったケースもある。皆さんの要望には応えたいが、限られたスペースの中で調整している。

（迎副会長） 稼働率が上がり、利用者が増えているが、近くに駐車場や広いところがあれば、もっと多くの人が来られると思った。夏に、本校では依頼があれば応援の車を１、２台、駐車させている。公共交通機関の利用が前提だと思うが、駐車場について、配慮、注意事項等あるか。

（井谷所長） 現状では難しい。皆さんにご不便をかけている。特にこれといった改善策はないが、駐車場の混雑が見込まれるときは、蘇我中、大森小、宮崎小に協力してもらっている。所有者が特定できない一般の方の車については、周辺の有料駐車場を案内している。

（井谷所長） センターの利用について、補足させていただく。

今年に入って、貸出有料自転車ハローサイクリング（3 台）をセンター内に設置しました。

資料 P5～7 及びパワーポイントの資料を使い、井谷所長より平成３０年度の主催事業の実施状況等について説明した。

（佐々木会長） 主催事業の実施状況について、質問、意見等はありますか。

（渡邊委員）　キッズイングリッシュは、小学校２年生を対象ということで、今、学校の現状としては、ＡＬＴとしてネイティブの先生、元中学校の英語の先生が巡回して各小学校の先生方を教えたり、小学校教員が研修を受けるなどして対応しているが、苦労している。英語に親しむ機会ということで、もう少し、人数、回数を増やすことはできないか。
（井谷所長）　去年、前期は 23 人で開催したが、講師の負担が大きかったため、後期は 12 人で開催した。また、前期、後期各 10 回ずつ開催したが、講師、職員の負担が（大変）大きかったため、今年度は前期、後期各 5 回ずつとした。講座としては、12 人、5 回が適正と考えている。小学 2 年生を対象とする英語の講座は、講師の選任が難しいが、検討していきます。

（井谷所長）　ゆめチャレンジについて補足させていただく。
運営は、淑徳大学の学生ボランティアの皆さんが中心になって、司会などやっている。
大学と連携して行っている事業である。今年も大学と協力して、開催する予定である。

（佐々木会長）　３０年度事業報告について、承認される方は挙手をお願いしたい。

【全員一致で承認された。】

（佐々木会長）　議題（２）令和元年度施設運営方針について、（３）令和元年度事業についてお願いします。

（井谷所長）　前回、年度末の審議会において承認を得ているが、今回新しい委員の方もいらっしゃいますので、事務局よりご説明いたします。

（２）令和元年度施設運営方針について
井谷所長より、資料 P8～9 を使い、施設運営方針について報告した。

（３）令和元年度事業について
井谷所長より、資料 P10～P11 を使い、令和元年度事業について説明した。

（佐々木会長）　今、説明のありました施設運営方針、令和元年度事業について、ご意見があればお願いします。

（迎副会長）　私もボッチャをやってみた。先日、オリパラ推進課より、２０２０のレ

ガシーとして、シッティングバレー、車いすバスケット、ボッチャについては、今後も継続していろいろな所、学校でも取り扱ってもらいたいと話があった。
　シッティングバレーは、3年ほど前から小中学校で取り扱っているが、ボッチャも先日、特別支援学級で行ったが、とても楽しかった。日本がパラリンピックでメダルを取ったこともあり、大人にも子供にも広がるのではないか。今年度、南部青少年センターでも開催するとのことなので、今後も継続していただきたい。
　また、南部青少年センターの設立目的とは異なると思うが、先日、宮崎公民館でプラレールが大好評だったようだ。教養の向上とは異なるが、（南部青少年センターでも開催すれば）子どもたちがたくさん集まると、南部青少年センターの施設の宣伝になると思う。おもしろいかもしれない。

（高瀬委員）　プラレール講座のことは私も聞き、子どもを連れていった。私も宮崎公民館自体、初めてだった。場所を知るきっかけは必要と感じる。
　（南部青少年センターも）中学高校では部活動などでお世話になるが、小学生レベルで場所の認知が低く感じる。（プラレール講座を開催すると）南部青少年センターの場所を知るきっかけにはいいのかもしれない。

（佐々木会長）　子供たちが興味を持つところを、どう取り入れるかは、なかなか難しいところだと思う。

（迎副会長）　昨年度の事業は、科学、料理、体操、英語、講演、茶道などの教養の向上を色々やっているが、そういう面とは違ってしまうので、いわゆる色が違うとは思う。

（井谷所長）　子どもたちがたくさん集まるプラレールが、主催事業につながるのか。参考にし、検討したいと思う。

（佐々木会長）　以上、施設運営方針、令和元年度事業について、再度承認を取りたい。
　承認される方は挙手をお願いしたい。

【全員一致で承認された。】

（４）その他
（佐々木会長）　それでは、各委員から一言ずつ、会議の感想をお願いしたい。

（池田委員）　主にゆめチャレンジに関わっている。発表する側も、いろいろな団体と関わり、交流し、お互いに見合ったりして、いい刺激をもらえている。ありがたい場だと思っている。また、ゆめチャレンジに小さいお子さんを連れてくる方もいるので、その時におむつ替えできるコーナーを設けるといい。小中校生だけでなく、小さいお子さんをセンターにつれて来て、センターに親しんでもらえると、その子が大きくなったときに、また、継続して利用したりということもあり、就学前の子どもさんも意識した施設だと、すごく利用しやすいかなと思う。

（渡邊委員）　多岐多様な講座をやられていると思う。興味を持ったのは、10 ページにあります「イライラしないで伝えよう！小学生のための心を育てるアンガーマネジメント」。すぐに切れる子は小学校でも多い。教師のためのアンガーマネジメント、怒りを鎮めるというのもやっている。もし、講師の方が小学校にも来ていただいて、講座を開いてみると、小学生がどう変わるのか興味を持ちました。

（遠藤委員）　いつも思うんですが、魅力ある事業が非常に多くて、多彩な事業がたくさんあって、訪れる方が少しずつ増えるというのは、そういうところにあるのかなと思いました。あとやはり、施設の稼働率が全体として５０％を超えているというのは、非常に施設としては高い稼働率だと思いますので、それもやはり、いろいろなご努力の結果かなというふうに思います。

私は市立高校ですが、県立も含めて、高校が公立だけで千葉市内に 22 校あるんですが、その中で千葉工業高校が、ときめきサタデイの中で連携をとっていただいたりですとか、こういう経験をさせていただくということが、非常に高校生のスキルアップにつながっています。非常にありがたいと思いました。

それから、施設の中でも稼働率がすごく上がったのが、レッスン室ＡＢＣ。どれも非常に上がっていて、なにかドラムを備え付けたというお話もちょっとあったんですけれども、プラレールじゃないですけれど、なにかしらそういう備え付けるものの工夫で、もしかすると稼働率が上がる可能性もあるのかなと思いました。

（坂本委員）　私は以前、この近くに居たが、子どもが小さい幼稚園生くらいだった頃に、劇団や指人形など、このホールでやっていただいていた。小さいお子さん幼稚園生向けに、市の方で安く無料のサークルなど、休みのときに企画してみてもと思います。

（高瀬委員）　私は学校の方でもＰＴＡ役員をしているんですが、そこで毎年、ＰＴＡ学級というかたちで、保護者の方に足を運んでいただく何か講座をというかたちで、毎年企画しております。その中で、足を運んでいただける方が年々減ってきていまして、そういう方にどういったものを企画したら、いらっしゃるのかなと頭を悩ませていまし

たときに、このときめきサタデイの項目を見せていただき、アンガーマネジメントの話は我々もでていたんですけども、どういったものが今、みなさんに興味がもたれているか指標にさせていただいて、とても参考になったなというふうに思いました。今、保護者の中でも、アンガーマネジメントとケータイの使い方、特に小学校高学年から中学生にかけての携帯電話の使い方というのを、学校でも指導していただいているらしいですが、専門の方に一度きていただいたことがありまして、子どもはもちろん、保護者、親の立場からも大変興味深く関心をもっていただいた事業のひとつでした。こういったことが講座としてやられているのはありがたいなというふうに思います。

あと、英語に関してなんですけれども、以前は英語を習っているご家庭が少なかったが、今は、みなさん幼稚園、小学校低学年くらいから、授業になるというのが大きいと思いますが、英語を習われているご家庭が多くなっているように感じます。ですので、またそういう環境がある方には、自分で習われるのでいいと思いますが、こういうところで無料で講座を開いていただけるというのは、大変ありがたいことですので、講師の方は大変だと思いますが、ぜひ広げていただけたらなと感じました。どうもありがとうございました。

（山口委員）　今日は、初めておじゃまして、ありがとうございました。

仕事柄、子ども未来局さんとコラボレーションすることが多く、青少年育成委員会自体が、子ども未来局さんの所管で、お手伝いさせていただいていることがあるので、どうしても中央区にあるあちらの方に目が向きがちなんですけれども、青少年センターで、こんなにたくさんのことを企画されているというのは、本当に勉強になりました。教育委員会さんもがんばっているなというのと、仕事柄、教育委員会の保健体育課さんとちょっとコラボレーションすることがあるんですけども、生涯学習振興課主催のところで、すごくがんばっているということは、大変勉強になりました。

地元にまたこういったことを持ち帰ってですね、当然、青少年育成委員会の地区ごと、ブロックごとあるいは全体でというところで、いろんな主催事業をやっていますので、ぜひまた所長さんにもいろいろヒントをいただいて、持ち帰りたいと思いますし、高校生を対象にした自主活動をよくやっていて、県内の高校生を対象にしているんですけども、こんなに高校生がここで活躍している、特に市外の高校生がここにきて、演劇の発表をしているのを知りませんでした。ぜひとも高校の先生方にも、こんなに演劇部の高校生達がんばっているんだぞということを、フィードバックしたいと思います。

今日は大変ためになりました。ありがとうございました。

（川端委員）　お疲れ様でした。二つほど感想があって、ひとつが、先ほど駐車場のお話があったと思いますが、私たちも事業をするときには駐車場とか気にしたりして、施設を選んだりするんですけども、特定の場所じゃなくても、例えば月間３か月のスケジ

ュールでここととここの駐車場が借りられますよ、みたいな、駐車場の貸出スケジュールがあれば、土曜日日曜日祝日とか集中する日程だけ、たとえば近くの小学校さんに借りて、この日はここに何時から何時まで借りられますよというのを、先３か月くらいのスパンでのスケジュール化した駐車場シフトみたいなのがあると良いと思いました。

ときめきサタデイをいろいろ見させてもらって、せっかくすごくすばらしいことをやっているので、南部青少年センターって検索すると、施設の場所はあるんだけど、ＰＤＦでこういったものが貼られていたりしたら、もっと、なにやっているだろうだとか、見に行ってみようという気になるのかなと思いました。

今日、ここに来るのにも、南部青少年センターで検索すると、住所とかアクセスしか載ってなくて、せっかくすばらしいことをやっているので、発信するものとして、なにかそういうもの（ＰＤＦ）があったほうが、より良くなるのかなと思いました。

（井谷所長）　今も、千葉市のホームページから南部青少年センターで入っていくと、講座の内容等が見られるようになっているが、発信方法については工夫したい。

（佐々木会長）　それでは、事務局にお返しいたします。

（事務局）　11 月末の任期満了に伴う委員の改選について説明した。

議事録の確定について、佐々木会長に承認してもらうことを確認した。

第 2 回会議は、来年 2 月頃に開催予定であることを説明した。